

小2国語 出題のねらいと対策

1 かん字の読みとり 85.0%

ねらい：漢字の正しい読み取りができるかを問う。

分析と対策：漢字の音読みについては、「店内」「画家」のような熟語の形でも覚えさせてください。

2 かん字の書きとり 81.6%

ねらい：漢字の正しい書き取りができるかを問う。

分析と対策：一画一画をていねいに書くように指導してください。また、「牛」は「午」と間違えやすいので、気をつけさせてください。

3 かぎかっこ 52.0%

ねらい：かぎかっこでくくられる部分が的確にとらえられるかを問う。

分析と対策：作文を書く場合などにも、かぎかっこを正しく使えるように指導してください。

4 くとう点 66.8%

ねらい：句読点の正しい打ち方ができるかを問う。

分析と対策：句点(。)については、文の最後に打つということをまず覚えさせてください。また、読点(、)の打ち所については、文の中でどこの部分で間を置けば、正しい意味が通りやすくなるかということを考えさせてください。

5 ていねいな言い方 76.6%

ねらい：常体と敬体とが正しく使い分けられるかを問う。

分析と対策：「です」「ます」について、

「でし(た)」「まし(た)」、「でしょ(う)」「ましょ(う)」などと、あとに続くことばによって形が変わることを注意させてください。また、例えば「読まなかった」を「読みませんでした」と表す場合のように、「ます」と「です」とを組み合わせる丁寧な言い方があることも指摘してください。

6 音や様子を表すことば 91.2%

ねらい：擬音語と擬態語とについて、その違いが理解できているかを問う。

分析と対策：「ガラスをピカピカにみがく」という場合の「ピカピカ」は、実際にそのような音が聞こえるわけではないので、様子を表すことばであることを指導してください。「パチパチと手をたたく」の「パチパチ」のように、実際にそのような音が聞こえるかどうかを考えさせてください。

7 せつ明文の読みとり 46.8%

ねらい：語句の意味や、文章の内容が正しくとらえられているかを問う。

分析と対策：この文章は、日本人と森林とのむすびつきの強さについて述べられています。(1)のような前後のつながりや、(3)のような、日本以外のものについて述べた内容なども、文章から読み取って解答できるよう、問題文を全部読む習慣をつけさせてください。また、(4)のような例示についても着目させてください。

全体の平均点は66.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。